

DV被害者支援の実態に関する調査について（令和4年度分）

資料2-2

調査の概要

姫路市では、姫路市配偶者暴力相談支援センターを利用したことがあるDV被害者のうち、現在安全が確保されている女性を対象に、どのような支援を受け、どのように感じたか等についてアンケート調査（郵送）を実施した。

○調査時期	令和4年6月
○調査方法	アンケート調査（郵送）
○調査協力者数	4名（被依頼者4名）

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
1. 当時、どのような被害がありましたか。	B 性的暴力 C 精神的暴力 E 社会的暴力 G その他（目の前で自殺をほのめかす。交際相手を殺しに行くとおどす。）	A 身体的暴力 B 性的暴力 C 精神的暴力 E 社会的暴力	A 身体的暴力 C 精神的暴力 E 社会的暴力 F 子どもを利用した暴力	A 身体的暴力 B 性的暴力 C 精神的暴力 D 経済的暴力 E 社会的暴力
2. DVを受けた期間について。	E 5年以上	B 3か月以上～半年未満（特に強く） D 1年以上～5年未満（普段から）	E 5年以上	A 3か月未満
3. 自分の受けた行為が、DVと気づいたきっかけは何ですか。	G 姫路市配偶者暴力相談支援センター相談員からの助言 H その他（ネット）	A 友人からの示唆、指摘 G 姫路市配偶者暴力相談支援センター相談員からの助言	A 友人からの示唆、指摘 G 姫路市配偶者暴力相談支援センター相談員からの助言	H その他（自己判断）
4. その被害について、姫路市配偶者暴力相談支援センター以外に利用された相談機関はどこですか。	A 警察 C 兵庫県の婦人相談所（シェルター） I 家族や親戚 J 友人・知人	A 警察 B 法務局（人権擁護委員など人権相談窓口） C 兵庫県の婦人相談所（シェルター） E 姫路市役所（生活援護室、こども支援課など） K その他	A 警察 F 法テラス I 家族や親戚 J 友人・知人	A 警察
5. 配偶者からの暴力についての証明書の発行について、発行を依頼したものは何ですか。	E その他（住民票閲覧制限）	無記入	A 児童手当の受給者変更 B 社会保険の離脱 C 年金事務における支援措置（受給者番号の変更）	F 依頼していない
6. 被害からの回復について（ア）「落ち着いてきた」と思えた時期はいつですか。	D その他（保護命令が出た時）	C 離婚できた時	D その他（まだ）	D その他（今まだ落ち着いていない）
（イ）「回復した」と思えた時期はいつですか。	A 就業を開始した時	C その他	C その他（していない）	C その他（回復の途中）

	Aさん	Bさん	Cさん	Cさん
7. 子どもに関する相談及び面会交流 (ア) 子どもに関して相談された先はどこですか。	無記入	無記入	B 学校関係者	無記入
(イ) 面会交流はされていますか。	無記入	無記入	B していない	無記入
8. 相談事項や、市等の関係機関へのご意見やご要望について (ア)被害を受けていた時の状態について A 相談をする原因となった事柄について、どのような支援を求めたいと考えておられましたか。また、その希望は、どの程度叶いましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・何も持ち出せず、警察へ保護してもらい、すぐシェルターへ保護してもらえたが取り調べ等の待ち時間が長かったので辛かった。 ・誰も一切連絡がとれなかったので不安だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りから言われて（姫路市にDVセンターがあるから相談できるよと言われて電話しました。） ・本人は家を出る程とも思っていなかったのですが、警察に電話すると、あれよあれよという間にシェルターにと運ばれました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えられなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・命が助かりたい。希望通り叶った。
B DV被害をもっと早く把握するために、市などの機関がどのようなことに取り組めば良かったと思われるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・警察への相談は2回目だが、1回目の時（10年以上前）に、相談窓口を知らなかった。また、警察からの現状確認の電話が月1回あるだけだったので、その後の相手の行動、様子等が全く分からなかった。その後の経過連絡があれば安心できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVを受けて困っている人は、とりあえず電話でもいいから相談してねのPRがほしい。（私は特に無神経でした。）大した事はないと思っているから。 ・若い人は携帯で相談先を見つけるけれど、年配の人はただ困っているだけだから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状態が良いと思う。
(イ) 現時点の状況について A 今も思い出すことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・監禁・軟禁生活でのこと。 ・保護命令の期限が切れた後、家族が被害を受けるのではないかと不安になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勿論ありますし、そのストレスとしか思えません。病気になりました。 ・私の子供達がDVセンターに電話することを勧めてくれましたが、それがなければ殺されていたかもしれません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュバックしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある。
B 現在相談したいことはありますか。また、相談できる市等の機関はありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の生活の様子。例えば、車の購入、仕事をしているのか。 ・精神病院に通院中のため、相談している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独りぼっちは辛いですね。こちらで友人も出来たし、交通機関もありますが、自動車を手に入れるのに四苦八苦です。やはり、家族とふれあいたいです。 	無記入	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
C 市のDV相談支援センターや関係する機関に要望したいこと、ご意見などがあればお聞かせください。	<ul style="list-style-type: none"> ・シェルターへ入所するまでに、家族等と直接連絡したい人と電話で話したかった。何も持たず、逃げ出したので、警察での待ち時間の間も不安だった。カウンセラー、心理療法士の方から相談しやすい対応をして欲しい。出来れば、女性の方が良い。直接外部からの連絡ができないので、どうなっているのかの報告をまめにして欲しいかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市のDVセンターの方は本当にやさしいです。特に思うのは、こちらから電話をしたときに名前をお聞きしても「教えられない。」と言われます。仮の名前でいいです。その方に連絡しようとしても分からないと連絡しにくいです。DVをされて辛い時に、そう言われると気持ちが落ちこみます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝しています。同じDV被害者の方を助けてほしい。 	無記入